

## 会員総会報告

事務局

第13回 JAMS 研究大会の1日目に会員総会が行われた。報告・審議の内容は以下の通り。

### 0. 議長選出

金子芳樹会員が議長に選出された。

### 1. 会長選挙結果および会長の選任に関する件

2003年度 JAMS 選挙管理委員の菅原由美会員より昨年度末に行われた会長選挙の結果が報告された。所定の期間内に届出のあった会長候補者は立本成文会員1名であり、規定により選挙は行わず、立本会員が会長予定者とされた。この報告を受けて、会員総会で立本会員を2004年度～2005年度の JAMS 会長とすることが承認された。

なお、規約に基づき、立本会長は2006年3月31日までを任期とし、次期会長については2005年度中に選出の手続きが行われ、2005年度の会員総会で会長選任の承認を得るという運びになっている。

### 2. 運営委員の選任に関する件

総務委員予定者の金子芳樹会員より運営委員の選任に関する報告がなされた。2004年4月、立本成文会長予定者（当時）より以下の通り運営委員会が指名された。

- ・総務委員 金子芳樹・山本博之[兼任]
- ・会計委員 西芳実
- ・会員情報委員 篠崎香織（JAMS メーリン

グリスト管理人を兼ねる）

- ・会報委員 山本博之
- ・監査委員 永田淳嗣
- ・関東地区委員 西尾寛治
- ・関西地区委員 杉本均・信田敏宏

また、規定に基づき、運営委員会内部の互選によって山本会員が運営委員長に選任された。

この報告に対し、2004年度～2005年度の運営委員会は上記の通りとすることが承認された。

なお、規約に基づき、上記の運営委員会は2006年3月31日までを任期とする。次期運営委員会については、2005年度中に次期会長（予定者）より指名され、会員総会で承認を得るという運びになっている。

### 3. 2003年度の事業報告に関する件

各運営委員より、前期運営委員から引き継いだ内容をもとに、以下の通り2003年度の活動内容が報告され、それぞれ承認された。

#### (1) 総務委員（金子芳樹）

会員総会で JAMS 規約を制定した。また、規約に基づいて会長（予定者）および運営委員（予定者）の選任を行い、3月31日付けで引継ぎを行った。

#### (2) 会員情報委員（篠崎香織）

会員名簿を発行した。また、メーリングリストの管理を行った。

#### (3) 会報委員（山本博之）

会報『JAMS News』を3号発行した。

(4)関東地区委員 (代理・西芳実)

関東地区では隔週の読書会および月例の研究会を行った。また、関東地区読書会参加者によるマレー語講読会も行われている。詳細は会報の関東地区のページに掲載した。

4.2003年度の会計報告に関する件

会計委員 (西芳実) より、表 1 (本誌 46 ページ) に基づいて会計報告が行われた。続いて監査委員 (永田淳嗣) より会計監査結果の報告が行われ、審議の結果、承認された。

5.2005年度の事業計画に関する件

各運営委員より、2004年度の事業中間報告、およびそれを踏まえた 2005年度の事業計画に関する報告が以下のように行われ、審議の結果、いずれも承認された。

(1)総務委員 (山本博之)

①故中澤政樹会員への供花について

去る 10 月 20 日、中澤政樹会員が逝去した。慣例に従って JAMS として葬儀に供花を行った。なお、立本会長より JAMS 会長名で弔電を打ったと伺っている。

②2004年度研究大会について

2004年度の研究大会にあたって、富沢寿勇会員に大会委員を担当していただいた。また、大会会場は中部大学に提供していただいた。

③2005年度研究大会について

年次の研究大会は会員の居住地の分布を参考にして関東圏と関西圏で行うという慣例に従い、2005年度研究大会は、2005年の秋から冬にか

けての土曜・日曜の 2 日間、東京都内で開催したい。その場合、会員総会は研究大会 1 日目に研究大会と同じ会場で開催される見込みである。

研究大会の開催にあたっては、大会委員を指名して会員総会で承認を得る必要がある。ただし、研究大会の開催が 1 年近く先のことであり、それまでに会員の間にも異動や長期海外滞在などの可能性が考えられることから、この会員総会では大会委員の人選を行わず、2005年 4 月以降に運営委員会が大会委員を指名し、会報等を通じて会員に通知することで研究大会を実施することとしたい。

会場校についても、大会委員の人選と密接な関係があるため、この会員総会では選定せず、2005年 4 月以降に運営委員会が大会委員と相談の上で決定し、会報等を通じて会員に通知するという方法をとりたい。

④次期会長選出について

規約に従って、2005年度会員総会の前に次期会長の選出を行う必要があり、それにあたっては選挙管理委員を指名し、会員総会で承認を得る必要がある。

ただし、会長選出は 1 年近く先のことであり、それまでに会員の間にも異動や長期海外滞在などの可能性が考えられることから、この会員総会では選挙管理委員の人選を行わず、必要な時期に運営委員会が選挙管理委員を指名して会報等を通じて会員に通知し、会長選出を行うことにしたい。

⑤規約見直しについて

昨年度制定・施行された規約 (会則・細則・

会長選出規定)について、実際に事業を行っていくうえで現れうる不都合に対応するため、今後1年間をかけてJAMSの実際の活動内容を調査し、その上で、必要であれば来年度の会員総会で規約の改正案を提出したい。

このため、当面の間、規約に規定されていないことについては運営委員会の判断で進め、会員総会で事後承諾をとるという形でJAMSの事業を進めていきたい。

#### (2)会員情報委員(篠崎香織)

2004年度は会員名簿を改訂して発行した。2005年度も6月ごろに会員名簿の改訂版を発行する予定にしている。会員情報の変更などについては会員情報委員宛にすみやかに届けていただきたい。

JAMSメーリングリストについては、引き続き運営していく。新規加入の希望者は会員情報委員まで申し込んでいただきたい。なお、メールの転送などの設定をしている場合、転送先アドレスが無効になると転送されないメールがメーリングリスト管理人に戻ってきてしまうので、転送先アドレスが無効になった時にはすみやかに転送の解除をしていただきたい。

#### (3)会報委員(山本博之)

2004年度は、これまで会報を1号発行した。年度内にさらに2号発行して、年度内に3号発行したい。2005年度も、同様に年度内に3号の発行を計画している。

#### (4)関東地区委員(代理・西芳実)

2004年度は、2003年度と同様、隔週の読書会および月例の研究会を行ってきており、これ

から年度末にかけて同じように読書会と研究会を継続していきたい。2005年度についても同様に活動を行うことを計画している。

#### (5)関西地区委員(信田敏宏)

2004年度には、年度末までに関西地区で研究会を1回開催したい。

#### 6.2005年度予算案に関する件

会計担当委員(西芳実)より、(1)2004年度会計中間報告および年度末の収支見通し、(2)2005年度予算案、(3)運営にかかる経費の見直し、の3点が報告され、審議の結果、いずれも承認された。

#### (1)2004年度中間報告および年度末収支見通し

2004年度会計中間報告(2004年11月2日現在)について、表2(本誌47ページ)に基づいて報告された。予算と異なる収支がある項目については以下の説明がなされた。

会費収入。中間報告の時点では会費納入率が3分の2であり、会費収入見込みより11万2000円分の不足となっている。ただし、この研究大会に参加した会員から会費納入があり、実際の会費収入はこれより多くなっている。JAMSの活動経費はもっぱら会員からの会費納入によるため、会報発送の際に会費納入の呼びかけを行うなどの方法を続けていきたい。

会報バックナンバー。JAMS会報のバックナンバーの印刷・発送代に5000円を支出した。これは希望する会員からの申し込みに対応したもので、当該の会員から5000円が納入されており(収入の「雑収入」に計上)、収支の上では

相殺されている。

慶弔費。中澤政樹会員の逝去に伴い、JAMSとして葬儀に供花を行った。この経費 1 万 5750 円は予算外支出となる。

これらのことから、2004 年度末には単年度の収支として 2 万 2442 円の差引残高が生じると見込まれる。

### (2)2005 年度予算案

2005 年度予算案について、表 3 (本誌 45 ページ) に基づいて報告された。特別支出として次期会長選挙にかかる経費が 3 万 5000 円計上されている。今年度の会員数が維持され、全ての会員から会費が納入された場合、単年度で 1 万 3000 円の赤字が生じると見込まれ、その場合には繰越金から補填することになる。

### (3)運営にかかる経費の見直しについて

これまで JAMS は会費を設立時に定められた「1 人一口 2000 円」から値上げせずに活動を行ってきたが、活動内容の充実に伴って財政的に対応しきれない部分が生じている。これに関して、今後 1 年間で JAMS の運営経費の見直しを行い、必要であれば来年度の会員総会で会費の値上げ等を含めて提案したい。

運営経費の見直しでは、特に次の項目を会計に組み込む方向で検討することを考えている。

- ①会報や通知の発送作業等のアルバイト代
- ②研究大会にかかる経費 (会場費、会場系のアルバイト代、院生会員の旅費補助など)

### 7.その他

以上の運営委員会提出議案の他に会場から

提出された議案はなかったが、会員から運営に関する質疑があり、運営委員長から以下のように回答がなされた。

質問: 来年度の事業のスケジュールはどのようになっているか。特に研究大会の準備などは早めに進めた方がいいように思われるがどうか。

回答: JAMS の公告は、会報発送の際の同封とメーリングリストの 2 つの方法で行われている。メーリングリストには未参加者がいることを考えると、重要な通知は会報発送の際に同封するなどの方法で行わざるを得ない。そのため、JAMS の事業スケジュールは年 3 回の会報の発行スケジュールと密接な関係にある。

来年度の会報は、6 月に第 32 号、10 月に第 33 号、2 月に第 34 号の発行を予定している。そのため研究大会については、大会委員の指名および会場の決定(5 月中)、会報第 32 号を通じて予報の通知および自由論題報告者の募集(6 月)、自由論題の応募締め切り(8 月)、会報第 33 号の発行にあわせて大会案内の通知(10 月)、研究大会の開催(11 月または 12 月)、会報第 34 号を通じて結果報告(2 月)、という見通しを立てている。

なお、同様に会長選挙に関しても、選挙管理委員の指名(5 月中)、会報第 32 号を通じて会長選挙の通知および会長候補推薦状の募集(6 月)、推薦状提出締め切り(8 月)、〔選挙を行う場合には、会報第 33 号の発行にあわせて投票用紙等を発送(10 月)、投票・集計(11 月頃)〕会員総会での報告・承認を経て、会報第 34 号を通じて結果報告(2 月)、という見通しを立てている。

質問: 今回の慶弔費などの特別の支出は今後  
も考えられるため、特別出費のたびに会員総会  
で事後承諾を得るのではなく、あらかじめ予算に  
組み込んでおいてはどうか。

回答: 運営委員会でも、会計委員を中心にそ  
の可能性について検討した。結論としては、現在  
の運営委員会の体制においては、予算外の出  
費に対して会員総会で事後承諾を求めるという  
現在の方法を維持したい。

(補足解説) 現在の運営体制での活動内容が定  
着する 2001 年度より前の時期、JAMS の活動  
は停滞期を迎えており、その理由の一部に会員  
情報や会計の管理が明確でないという会員から

の批判があった。この点に対する反省を踏まえ、  
2001 年度以降の JAMS の運営に携わっている  
現在の運営委員会では、「雑費」などの形で使途  
の詳細が不明な支出を可能な限り少なくしたいと  
考えている。そのため、手続き上の手間はかかる  
ものの、予算化されていない支出に関しては会  
員総会で報告して事後承諾を得るという現在の  
方法を維持したいと考えている。ただし、今回の  
会員総会で承認されたように、今後 1 年間を通じ  
て運営にかかる経費の見直しを行う予定であり、  
その過程でこの問題も改めて検討されることにな  
ると考えられる。

以上

表 1 2003 年度収支決算報告(単位:円)

前年度繰越金		171,233	
<b>2003 年度収入</b>		<b>2003 年度支出</b>	
会費	293,000	通常支出	
雑収入	500	会報	225,832
利息	4	26 号	(75,234)
		27 号	(82,828)
		28 号	(67,770)
		研究大会	13,000
		事務費	4,793
		合計	243,625
		特別支出	
		規約立ち上げ	22,828
		規約告知	11,500
		会長選挙	12,838
		合計	47,166
合計	293,504 ①	合計	290,791 ②
<b>2003 年度収支差額(①-②)</b>		<b>2,713</b>	
次年度繰越金		173,946	
次年度以降会費前払い分		169,000	

表 2 2004 年度収支中間報告(2004 年 11 月 2 日現在、単位:円)

前年度繰越金				173,946 ①			
2002 年度以降の会費後払い分				34,000 ②			
<b>2004 年度収入</b>				<b>2004 年度支出</b>			
	予算	中間報告	年度末 (見込み)		予算	中間報告	年度末 (見込み)
会費	336,000	224,000	352,000	会報	270,000	270,000	263,932
				29 号	(90,000)	(78,932)	(78,932)
雑収入		5,000	5,000	30 号	(90,000)		(90,000)
				31 号	(90,000)		(90,000)
				バックナンバー		(50,000)	(50,000)
				研究大会	50,000	39,876	49,876
				総会議案問合せ		(9,008)	(9,008)
				研究大会案内		(30,868)	(30,868)
				会場費			(10,000)
				事務費	10,000	1,600	5,000
				慶弔費		15,750	15,750
合計	336,000	229,000	357,000 ③	合計	330,000	141,158	334,558 ④
2004 年度収支差額(③-④)				22,442			
次年度繰越金(①+②+③-④)				230,388			
次年度以降会費前払い分				95,000			

表 3 2005 年度予算案(単位:円)

前年度繰越金		230,388	
<b>2005 年度収入</b>		<b>2005 年度支出</b>	
会費	352,000	通常支出	
		会報	270,000
		研究大会	50,000
		事務費	10,000
		合計	330,000
		特別支出	
		会長選挙	35,000
		合計	35,000
合計	352,000 ①	合計	365,000 ②
2005 年度収支差額(①-②)		-13,000	
次年度繰越金		217,388	